

平成27年度指定管理者管理運営状況評価結果について
(文化施設6件)

東京都では、指定管理者制度を導入した公の施設の管理運営状況について、第三者の視点を含めた評価を実施しています。

このたび、平成27年度の評価結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

1 評価の目的

評価は、管理の履行状況、安全管理、法令順守、サービスの利用状況といった観点から指定管理者の業務実施状況等を評価し、その結果を今後の施設管理運営に反映していくことで都民サービスの向上を図っていくことを目的としています。

2 評価の方法

指定管理者の年間を通じた施設の管理運営状況について、毎年度終了後、生活文化局が一次評価を行い、外部委員を含む評価委員会の評価を経て、最終的な評価を決定します。

3 評価の概要

(1) 評価基準(3段階)

総合評価	内容
S	管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A	管理運営が良好であった施設
B	管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

評価の観点については別紙1のとおり

(2) 評価委員会名及び委員構成

評価委員会	対象施設	委員構成
東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者評価委員会	東京都江戸東京博物館等 6施設	外部委員6名(文化事業関係者1名、美術館・博物館関係者1名、ホール関係者2名、学識経験者1名、公認会計士1名) 内部委員1名(東京都職員)

評価委員会委員名簿は別紙2のとおり

(3) 評価結果

	S	A	B	計
東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者評価委員会	4施設	2施設	0施設	6施設

各施設の評価は別紙3のとおり

[問い合わせ先]

生活文化局文化振興部企画調整課
電話 03-5388-3158

評価の観点

項目	細項目	内容
管理状況	管理の実施状況	○施設設備その他の管理は適切に行われているか ・施設の安全性や快適性は確保されているか ・組織体制は事業計画どおりか ・事業、運営及び管理について自己評価システムが確立されているか など
	財務の状況	○適切な財務運営が行われているか ・事業計画どおりの収支状況となっているか など
事業効果	事業の実施状況	○効果的な事業内容か ・資料や作品等の管理は都の定める方針及び要領に従って適切に実施されているか ・調査研究や展覧会等は館の設置目的に沿った効果的な内容か ・館の設置目的に沿った戦略的かつ効果的な貸館が行われているか など
	運営の実施状況	○適切な施設運営が行われているか ・休館日や開館時間は条例や規則に従っているか ・広報は館の設置目的に沿った効果的な内容か ・館内サービスは適切に提供されているか など
方針と目標の達成状況		○事業計画の基本方針に従い、目標を達成しているか ・館の管理、事業及び運営は事業計画の基本方針に沿って実施されているか ・定性目標、定量目標は達成されているか など

評価委員会委員名簿

評価委員会名	委員氏名	役職名
東京都江戸東京博物館外 5施設指定管理者評価委 員会	荻原 康子	公益社団法人企業メセナ協議会 事務局長/プログラム・ディレクター/ 副主幹研究員
	田村 孝子	公益社団法人全国公立文化施設協会 副会長/文化ジャーナリスト
	津村 卓	財団法人地域創造プロデューサー/ 上田市交流文化芸術センター館長
	松本 透	東京国立近代美術館 特任研究員
	水嶋 英治	筑波大学図書館情報メディア系教授
	野崎 一彦	公認会計士/税理士
	越 秀幸	東京都生活文化局 文化施設改革担当部長

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都江戸東京博物館
所在地	東京都墨田区横網1-4-1（分館 東京都小金井市桜町3-7-1）
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団グループ
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成27年度

項目		評価内容	
総合評価 (二次評価)		S	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> ・両国を中心とする地域連携や日中韓の都市博物館間の交流を継続して推進しており、東京都のフラッグ館としての存在感を内外に示している。 ・財務状況については、正味財産が増加している。
	財務の状況	◎	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・本館では、リニューアルオープンした常設展と特別展で、目標を大きく上回る観覧者数となっている。常設展の新たな展開、学芸員の調査研究活動に基づく企画展、「えどはくカルチャー」等、自主事業のバランスの良さや充実した内容が集客につながったと評価する。 ・子供を対象とした展示やワークショップ、学校教育への働きかけ等教育普及活動が充実している。 ・分館では、街並みの再現事業を促進し、江戸・東京の暮らしの諸相を伝える不断の努力がなされている。 ・常設展の展示解説パネルについて、従来の6か国語に加え、さらに、ドイツ語とロシア語にも対応したことは、国際化に向けた努力であり、評価できる。
	運営の実施状況	○	
重点評価項目	自主企画事業	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・「徳川の城」展と「浮世絵から写真へ」展は、いずれも学芸員の日頃の調査に基づく着眼が素晴らしい企画であった。前者は、映像を効果的に導入するなど、展示方法の先進性においても高く評価される。また、後者の図録が、美術館連絡協議会の「優秀論文賞」を受賞したことは、博物館本来の研究の成果である。 ・講座や寄席等、研究と普及の両面において充実した事業が展開されている。
方針と目標の達成状況		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・多岐にわたる事業を、基本方針に沿って丹念に実施している。 ・観覧者数は、全体の定量目標を上回っている。定性目標についても事業・管理の両面において努力が認められる。

[評価基準]各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した3段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	本館・分館ともに貴重な資料や歴史的建造物を保存・活用しつつ、それぞれの個性を発揮し創意工夫した事業を展開している。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取組むべき点	今後も両国や多摩地区の立地特性を考慮した地域連携を進めるとともに、2020年に向け、観光誘客を意識した館のプロモーションにも努められたい。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都写真美術館
所在地	東京都目黒区三田1-13-3
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団グループ
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成27年度

項目		評価内容	
総合評価 (二次評価)		A	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> ・27年度は改修による休館だったが、「恵比寿映像祭」を地域の他施設を活用して継続開催し、目標を上回る動員数を得た。これは、写真・映像の専門館として、近隣地域を牽引してきた成果であると言える。 ・収支のバランスが保たれ、正味財産が増加した。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> ・『東京都写真美術館総合開館20周年史』を発行するとともに、リニューアルオープンに向けて、記念展や国際シンポジウムなどの準備が着実に進められた。 ・次世代を主たる対象とし、スクールプログラムやワークショップ、講演会など、アウトリーチ活動を積極的に展開した。 ・前年度の支援会員の約9割を維持できたことは、休館中にも会員交流の機会を設け、同館への理解と信頼を得る努力を続けたことによると評価する。
	運営の実施状況	○	
重点評価項目	自主企画事業	○	「恵比寿映像祭」の開催や積極的な教育普及活動等、同館の存在感を示す自主事業が継続されたことにより、リニューアルオープン後の運営につながる成果を挙げた。
方針と目標の達成状況		○	<ul style="list-style-type: none"> ・「写真美術館らしさとは何か？」を運営コンセプトに、休館中になすべき事業に取り組み、定性・定量目標ともに達成している。 ・教育普及活動は目標数を大きく上回っている。

[評価基準] 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した3段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事を契機として、同館のさらなる発展に資するような事業展開が図られた。 ・休館中においても、約3万3000点の資料管理をしたことは高く評価できる。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取り組むべき点	写真・映像の専門館として、地域のみならず、国内外の美術館の目標となる施設となることを期待する。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都現代美術館
所在地	東京都江東区三好4-1-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団グループ
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成27年度

項目		評価内容	
総合評価 (二次評価)		A	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理、関係機関との連絡調整、業務の品質管理等は適切に行われている。 入場料収入が著しく増加した。一方で協賛金は若干減少している。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 企画展においては、ジャンル、時代、地域等の点で極めて多彩なプログラムをバランスよく編成している。 常設展がますます充実している。「戦後70年」を軸とした構成や多角的なテーマ設定により、リピーターに働きかけ、新規収蔵作品も含めた魅力的な展示となっている。 教育普及活動では、展覧会と連動したワークショップの実施や、学校団体鑑賞の利用の増加から、創意工夫と対応能力の高さがうかがえる。あわせて、解説ボランティアの質的向上やインターンシップの活用等、運営体制の充実を図っている。
	運営の実施状況	○	
重点評価項目	自主企画事業	◎	企画展だけでなく、現代美術館の礎となる常設展の充実、公立文化施設としての教育普及活動の積極的な展開等、総合的な取組が高く評価できる。
方針と目標の達成状況		○	<ul style="list-style-type: none"> 全体としての定量目標は上回っているが、個別事業では目標と実績の差が大きい場合がある。定性目標は概ね達成している。 基本方針に沿って事業が実施されている。展覧会では、集客が見込みにくい意義のあるものを開催しつつ、年間目標観覧者数を大きく超える実績を上げた点を評価する。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した3段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 日本の現代美術を扱う美術館として、その存在感は比類ないものである。 インターネットを活用した効果的な情報発信が、観覧者数、自主事業参加数ともに目標を超えることにつながった。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取組むべき点	都の文化施設をはじめ、内外の美術館とのネットワークを強化し、コレクションの活用やアートプロジェクトの好例を示す等、リーディング館としての役割をさらに期待したい。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京都美術館
所在地	東京都台東区上野公園8-36
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成27年度

項目		評価内容	
総合評価 (二次評価)		S	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理、関係機関との連絡調整、業務の品質管理等は適切に行われている。 特別展が大幅に目標を上回り、全体として収支のバランスが確保され、正味財産が増加した。
	財務の状況	◎	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 特別展は、いずれも知名度の高い作家や博物館のコレクションを取り上げるものであり、同館のミッション「アートへの入口」に適うプログラム編成である。 「二科100年展」や公募団体との連携展は、同館ならではの成果である。 外国人を含む来館者対応等、サービスの向上に努めており、館全体としてのホスピタリティが高まっている。
	運営の実施状況	○	
重点評価項目	自主企画事業	○	日本展示学会作品賞を受賞した「キュッパのびじゅつかん」や、「Museum Startあいうえの」による地域連携等で、新たな来館者層を開拓し、美術館のファン作りに努めている。
方針と目標の達成状況		◎	<ul style="list-style-type: none"> 展覧会の動員数が目標を大きく上回るとともに、「アート・コミュニケーション事業」への意欲的な取組も成果を見せつつある。 基本方針に沿って事業が実施され、所期の目標が十分に達成されている。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した3段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 話題性のある大規模な展覧会の成功が続いているのは、これまでの実績の表れである。集客においては、特別展、公募展事業や「アート・コミュニケーション事業」との相乗効果も見られる。 「アート・コミュニケーション事業」の幅広く手厚い取組は、高く評価できる。参加・体験型の企画展を実現するなど、美術を介したコミュニケーションの場を創出している。
	改善が望まれる点	多数の入館者を迎えながらも、良好な鑑賞環境を保つことが、今後の課題である。
	今後取組むべき点	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設が集積する上野にあって、他館との連携や発信力の向上をさらに期待する。 「アート・コミュニケーション事業」を今後も発展させ、来館者層の新規開拓に期待する。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京文化会館
所在地	東京都台東区上野公園5-45
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団グループ
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成27年度

項目		評価内容	
総合評価 (二次評価)		S	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> これまでの実績に基づき、国内外の文化団体や公演主催者との強固な信頼関係を築いており、「音楽・舞台芸術の殿堂」としてのブランドを確かなものになっている。 館の基本方針に沿った管理運営がされている。 収入全体が増加し、正味財産が増加している。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 「東京音楽コンクール」の国際化・活性化に向けたリニューアルにより、過去最高の応募者数を実現した。受賞者によるコンサートを工夫し、新進アーティストに活動の場を提供している。 「オペラBOX」での邦人作品の上演やコラボレーションによる新作の上演など、創造性の高い意欲的な取組が見られる。 ワークショップ系事業が拡大している。特別支援施設や高齢者向けのプログラムも工夫されている。 ホール運営に関しては、貸館へのアプローチからホスピタリティまで評価できる内容であり、毎年度向上を目指している結果である。
	運営の実施状況	○	
重点評価項目	自主企画事業	◎	<ul style="list-style-type: none"> 「オペラBOX」は子供に提供する作品として高く評価できる。また、子供向けのワークショップ事業展開も、質が高いものとなっている。 「東京音楽コンクール」を核とした展開や、次世代育成の積極的な取組が見られ、外部資金も獲得して多彩な自主事業を実現している。
方針と目標の達成状況		◎	国内外より優れた公演を誘致し、館のブランド力を維持するとともに、多彩な自主事業の取組で来館者数を伸ばし、ホール稼働率も目標を達成している。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した3段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な事業展開により多くのファンを掘り起こしたことは特筆すべきである。「音楽・舞台芸術の殿堂」として更なる総合的な質の向上に歩みだしたと大いに評価する。 高い水準の公演の提供と、ホスピタリティにあふれるサービスの実現に加え、創造・発信、育成・支援、次世代への投資事業にも意欲的な展開が見られる。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取組むべき点	<ul style="list-style-type: none"> 創造事業では、今後も企画性とクオリティの高さを目指し世界発信を行っていくことを望む。 子供達へのアプローチは大変素晴らしいので、今後も質を大切に継続していくとともに、運営体制も考慮しつつ、全国的にもリーダーシップを取って推進されたい。

東京都江戸東京博物館外5施設指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	東京芸術劇場
所在地	東京都豊島区西池袋1-8-1
指定管理者	公益財団法人 東京都歴史文化財団
指定管理期間	平成21年4月1日～平成29年3月31日
評価対象年度	平成27年度

項目		評価内容	
総合評価 (二次評価)		S	
管理状況	管理の実施状況	○	<ul style="list-style-type: none"> 大型の施設及び設備を持つ中、自主事業や貸館も含めた高い稼働率を持つ劇場として、点検・修繕に取り組み1年間無事故であったことは評価に値する。 外部資金の活用等が積極的に行われた。
	財務の状況	○	
事業効果	事業の実施状況	◎	<ul style="list-style-type: none"> 複合文化施設として、作品創造と国内外との連携・発信を進める劇場であり、大道芸から総合舞台芸術の「オペラ」まで、活発な事業展開が図られている。 優れた作品の再演と全国巡回により、若手劇団の育成に寄与するとともに、地方公共劇場との連携を推進している。 館の信頼性とネットワーク力により、海外からカンパニーやオーケストラを招聘し、質の高い公演が実現されている。 芸術監督制度のメリットを最大限に活用する創造事業展開がなされている。
	運営の実施状況	○	
重点評価項目	自主企画事業	◎	<ul style="list-style-type: none"> 舞台芸術・音楽ともに、多彩で魅力的な自主事業がバランスよく展開されている。他館との連携にも注力し、館の発信力を高めている。 「フィガロの結婚」の全国展開の成功は、これまでのシアターオペラへの取組の成果である。総合舞台芸術として、日本のオペラ界に一石を投じた取組として評価できる。
方針と目標の達成状況		◎	<ul style="list-style-type: none"> 劇場、コンサートホール、ギャラリーなど、多様な複合文化施設としての総合力が発揮されており、明確な方針のもと、定量・定性目標ともに達成している。 芸術監督の下、次世代の演劇界を担う人材の育成を視野に入れた事業を系統的に継続し、実施できる文化施設は貴重であり、評価できる。

〔評価基準〕 各項目の評価

◎＝「水準を上回る」…項目の達成度が110%以上

○＝「水準どおり」…項目が計画どおりに達成

△＝「水準を下回る」…項目の達成度が概ね90%未満

総合評価については各項目の状況から総合的に判断した3段階評価

「S」…管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設

「A」…管理運営が良好であった施設

「B」…一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	芸術文化の創造拠点として定着し、国内外のネットワーク形成を図りつつ首都・東京の「顔」としての役割を担うとともに、地域の賑わい醸成・交流の場としても機能している。
	改善が望まれる点	特になし。
	今後取組むべき点	<ul style="list-style-type: none"> 他地域の劇場等との取組に関して、公演（作品）だけの連携ではなく、公共劇場の将来を見据えた連携に、より力を入れていくことを望む。 才能ある若手表現者の育成に対し、場所や公演の機会の提供にとどまらない、創造的な企画を期待する。